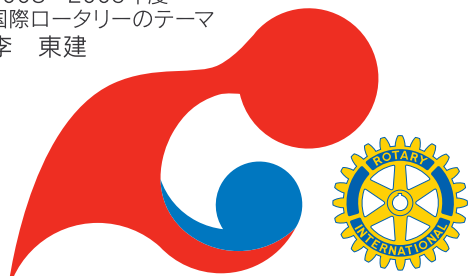


2008～2009年度
国際ロータリーのテーマ
李 東建



Make Dreams Real
夢をかたちに

会長／齋藤清蔵 幹事／遠藤光一

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2008▶2009 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

出席と参加、親睦と奉仕の 意識を高め地域に奉仕

プログラム

- 本日
「年次総会」
 - 次週予定
「年忘れ家族会」
- ご夫人誕生日
- 11月26日 武井 宏子
 - 11月27日 渡邊 順子
 - 12月1日 山本由紀子

No. 2352

第20回 11月26日

出席報告

前例会

会員総数……………45名
出免会員……………5名
出免出席……………3名
出席会員……………30名
出席率……………69.77%

前々会

第17回 11月5日

出席会員……………30名
メイクアップ……………3名
修正出席率……………83.33%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



会長報告……………

- 陸上自衛隊留萌駐屯地創立55周年記念演会の案内状が届いております。日時は12月7日(日)午後1時開場・2時開演、場所は留萌市文化センターです。
- 地域再生シンポジウムイン留萌「観光創造と地域活性への新たな挑戦」の案内が届いております。日時は11月28日午後2時～4時場所は留萌市中央公民館小ホールです。
- 来年開催されるロータリー国際大会の案内状が届いております。来年の大会は100回目の記念大会になります。2009年6月21日から英国のパーミンガムで開催されます。
- 留萌みなとライオンズクラブより、恒例のクリスマスパーティーの案内状が届いております。12月2日(火)午後6時よりクランドよ

こやです。



幹事報告……………

- 1) 国際ロータリー第2510地区インターアクト委員会より年次大会と研修旅行の報告書を受領しました。

会報受領先

・羽幌 R C No.1422号～No.1425号



委員会報告……………

親睦活動委員会

河部委員長

いよいよ親睦委員会のメインイベントの年忘れ家族会が近づいてまいりました。委員会では皆様の参加人数を確認しております。すでに皆

様にはFAXにてご案内をさせていただいておりますが、まだ出欠の返事を出されていない方は早めに親睦委員会までご返事をお願いします。

3分間情報

会員研修委員会 田中委員
「米山月間の経過報告」

10月までの寄付累計額は5億2千万円で、前年同期と比べて2.2%減、約1,180万円の減少となりました。普通寄付金が0.1%減、特別寄付金が3.7%減と7カ月ぶりに前年同期比減となりました。2006年度以降3カ年の中で一番少ない金額です。2009学年度・奨学金申し込み状況は、10月15日に締め切られ、米山記念奨学金(学部・修士・博士課程奨学金、地区奨励奨学金)には、指定校から1,427名の応募がありました。

申込者を国・地域別にみると、中国が59.1%(前年度比+0.8%)、韓国11.4%(▲0.3%)、台湾6.0%(±0.0%)、その他が23.5%(▲0.4%)となり、課程別では、博士課程が26.2%(▲4.7%)、修士課程61.7%(+4.6%)、学部課程10.5%(▲0.5%)でした。定員が800名に減ったことは、すでにご存じのとうりです。

昨年10月、アメリカから1,000ドル(当時の為替レートで約11万2千円)の寄付を送ってくれた米山学友の張 虞安(チョウ・イウアン)さん(中国/1998-2000/近畿大学大学院)が、今年も世話クラブの交野RC(第2660地区)を通じて、1,000ドルを寄付してくれました。2年続けて1,000ドルの寄付で、累計が20万円を超え、第2回米山功労者マルチプルとなります。米山学友の張さんは、「恩返しのために米山奨学会の寄付金を増やすのは、私が一生をかけて目標とすることの一つです」と語ってくれました。

(ロータリー米山記念奨学会のホームページから)
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/r_member/highlight/highlight105.html

【張 虞安さんからのコメント】

アメリカに来て8年、大学の研究室から民間の製薬会社に移り、知らず知らずのうちに人間のありきたりな欲求に従って働いていることが

ありました。例えば、金銭や昇格、永住ビザや車、美味しい食事や大きな家を得るためなどです。それらは、つかの間の幸せをもたらしてくれましたが、手に入れてしまえば、次の幸せを得るまで、再び緊張や悲しみがやって来ました。しかし今、私は途切れることのない充実感と幸せを感じています。それは、周囲のすべての人に対して奉仕の気持ちを意識することで得られています。他者への奉仕と、自分の目標に対する努力によって、気持ちを高め、スムーズに進むことができるのです。

Service above Self! これは私にとって単なる言葉ではなく、精神そのものであり、幸せの源泉なのです。

ニコニコBOX

- DVDをいただきました いよいよ冬将軍がやってきました 齋藤会長
- 麻雀大会優勝 森(俊)会員
- 麻雀大会準優勝 中川会員
- DVDをいただきました 西谷(英)会員

前 回	416,500円
今 回	6,000円
累 計	422,500円

プログラム

「最近のITについて」

河部 勲会員

今年度の例会運営委員長 森 俊二会員の年間方針は例会プログラムの1つとして、各委員長から自由課題で卓話をして欲しいとの要請があり、親睦活動委員会を代表し委員長として卓話を引き受けました。ことと、パソコン愛好会にちなんだ話をしたいと考えました。「最近のITについて」とした題材は、決して難しいことを文献からとり、お話をしようとしておりません。ごく身近な事柄のうち「どうして」と思っていることを素人である私が責任のないお話をしますので、その程度でお聞き下さい。

◆ 2011年7月24日までに現行のアナログテレビ放送は終了します。あと3年足らずであります。実は11月には留萌地方でこの試験電波が放送される予定でありました。試験電波をもとに古いテレビから新しいテレビを使い、視聴した結果をもとにお話しようと思っておりました。ところが、現在試験放送に至っておりません。12月中旬に試験電波が開始される予定だそうです。先日、当会員の技術と信頼を自負する電器店から購入いたしました。その時、少しばかり資料を纏めてみました。参考になればと思います。

◆ 地上デジタルテレビ放送に対応するテレビを購入するときはカタログ・インターネット・販売店からの説明をもとに機種を選定すると思います。そのとき、「規格」と「仕様」をよく調べておく必要があります。販売する側ではこちらから質問しない限り教えてくれないため、カタログなどを見て判断するにはある程度の知識がなければなりません。そこでポイントを2・3話したいと思います。

◆ 液晶テレビは現在フルハイビジョン（解像度207万画素）とハイビジョン（解像度105万画素）の2種類があります、画面の大きさには関係なく解像度は固定されています。コンピューターの液晶モニターは解像度を変更できます。（最近では液晶テレビの30インチ以下くらいがハイビジョンらしい）、カタログの記載で商品名を「地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶（プラズマ）」という名称で表示されています。このうち110度CSとは東経110°に位置する通信衛星（スカイパーフェクト110）のことで、以前からある東経124°、東経128°に位置する通信衛星放送（スカパー）とは違いますし、アンテナも違います。

フルハイビジョンとハイビジョンは別紙の「カタログの表示」で説明します。また、型式について〇〇47V型のV（ビジュアルサイズ）は画面（モニター）の対角線寸法の実長47インチを言います（今までは1～2インチ実際の長さより多くカタログが表示されていま



した)

◆ 液晶テレビの倍速について

液晶テレビは動きの早い画面は弱点であり、プラズマは得意としていた。従来の液晶テレビは1秒間で60コマの静止画を連続して表示して動画にしていたが（ブラウン管のアナログテレビは1秒間で30コマ）、「倍速」することで1秒間に120コマの静止画を送ることで滑らかな画像になるとのこと。「液晶の倍速」の表示に注意してみよう。

なぜ、フルハイビジョンとハイビジョンのややこしいことになったか、これはここまでに至るハイビジョン放送とテレビの製品化の経緯によるもので、その産物と思われま。フルハイビジョン1920×1080iのようにインターレース方式でないとは転送できないようだ。1080の後の符号「i」はインターレース方式をいいます。1080iの記号はビデオカメラのハイビジョンの画面解像度に関連して出てきます。テレビの走査線の数と方式を表す数字と記号です。1080iというのは、走査線が1080本ということです。ただし、この数は実際に画面作成に使われている有効走査線の数で、実際には、画面作成に使われていない走査線も送られていて、それを入れると1125本になります。送り方は走査線を1本目、3本目、5本目と1本飛ばしに引いていき、下まで来たら左上に戻って2本目、4本目、6本目と引いていきます。従来のテレビ放送（480i）も、この方法でありました。

DVD「録画用」と「データ用」の違い

エキサイト ビット ニュースより (2008年3月24日)

DVDレコーダーを買ったころのこと。

テレビ番組を保存するためのDVD-Rディスクを買いに行ったら、同じ種類なのに安いパックを発見。セール商品なんだろうと思って、疑うことなく買った。

ところが家に帰ってから、あることに気付いた。

『データ用』

これを使って、のちのち見れなくなったらイヤだから、改めて「録画用」のDVDを購入。データ用のディスクは、きっちりデータを保存して使い切った。それ以来ずっと、「データ用」じゃなくて「録画用」を買い続けている。

ただ、いまだにこの2つの違いが分からない。見た目が同じで容量も一緒なのに、値段が違う。録画用の方が高いことが多い印象。

違いって、一体何だろうか。DVDディスクを製造しているメーカーに聞いた。

「データ用も録画用も、ディスク自体に違いはありません。製造工程も同じです」

えっ！ 同じだったの!? じゃあどうして、録画用とデータ用に分かれてるの？

「録画用には、著作権の関係で、価格にわずかな“私的録画補償金”が含まれているんです。データ用にも録画はできますが、テレビ放送などを録画する場合は、この録画用をお使いください」

あと、データ用と録画用に金額の差があるのは、基本的に、私的録画補償金とは関係ないんだとか。単純に仕入れ値の差で、どっちを安く入荷したかで決まる。例えば大量入荷したから安い、みたいな感じだ。

詳しい話については、その名もズバリ、社団法人私的録画補償金管理協会という団体が教えてくれた。その内容を要約すると……、

私的録画補償金とは、デジタル機器やメディアを買ったとき、自然と僕らから著作権者へと払われているお金。著作権法で定められていて、デジタル機器やメディアの値段に、私的録画補償金はすでに含まれている。それが例えば「録画用」のディスクで、金額は200円あたり1円くらい。

これはビデオテープの時代にはなかったけど、高画質で劣化せずコピーできるDVDが普及してきたことで、1999年7月に定められた(音楽用CDディスクも同じように1993年6月から「私的録音補償金」が含まれている)。罰則はなくて、買った人の良心に任せている形だ。

ちなみにテレビ番組じゃなく、子供の成長記録や旅行映像など、個人で撮影したものなら「データ用」で録画してもOK。もし録画用に個人撮影の映像を入れたら、私的録画補償金を返還請求できちゃうんだとか。事例としては、以前に4枚の録画用ディスクの返還請求で、8円返還されたことがある。封書代で80円かかって、トータルでマイナスだったらしいけど……。

著作権を考えて分けられていた、録画用とデータ用。

なにはともあれ、テレビ番組の録画は、録画用ディスクをお願いします。(イチカワ)

※地デジ等のデジタル放送を記録する場合には、CPRM対応の録画用DVDでないと録画できません(追記: 3月25日)